



題字は松井岳洋筆

青少年に詩吟を

青少年部長 磯村岳朋



碩心会の青少年少女といえは、広瀬優作君、広瀬直樹君、松浦みづきさん、の貴重な3名です。夢中になれるものを子供のうちに見つけられたら、幸せですし、一生続けられたら充実した日々が期待できます。

私も20代で詩吟に出会いました。今振り返って思う事は、続けていて本当に良かった。切っ掛けを作ってくれた母に

感謝しています。

詩吟は、漢詩の内容に感動したり、歴史を学んだり、漢字を覚えたり、本当に素晴らしい趣味です。社会人として大切な礼儀を重んじ「吟道は礼に始まり礼に終わる」と教えられました。それだけでは無く、健康にも良く「姿勢を正しく」「口の開きを正しく」と朗詠だけでは無い教養を身に付られます。

これに詩情を読み、吟の中に万感の思いを込める、感情の豊かさも重要なのです。

こんな素晴らしい芸術を、もっと若い方達に広めて下さい。詩吟を習っています、と思ひれて小さくなる事は全然ありません。

色々上げましたが、全部含めて朗吟を考えると、一生を掛けて勉強し続けても、終わりが無いすごい趣味です。

碩心会は、私知っている限り、青少年が少ない会なので、是非小・中・高、学校や幼稚園、サークルなど団体で活動されている方々を御存知の方ご紹介頂きたいのです。

一言私に声を掛けて下さい。青少年が、一人でも増える事が、今の私の役目だと思っ居ります。力不足の私に何らかのお力添えをお願いできたら嬉しいです。

来年は、相州岳風連合が担当の、青少年大会が開催されます。青少年大会の盛會を祈ると共に、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

No.402

平成22年7月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会認可

碩心会

発行者 加藤岳洵

編集者 伊藤岳光

神奈川県葉山町堀内206
Tel/Fax 046-875-3723

URL <http://sekishin.holy.jp>



行事予定

碩心会夏季吟道講座

日時・8月22日(日) 午前9時10分受付
場所・逗子さざなみホール

第18回神奈川県風連合会吟道大会

日時・9月5日(日) 午前9時10分開場
場所・鎌倉芸術館大ホール

第17回全国優秀吟者吟道大会

日時・9月12日(日)
場所・九段会館

碩心会秋季昇伝段審査会

日時・9月19日(日)
場所・葉山町福祉文化会館大会議室

詩吟体験教室

日時・9月23日(木) 午後1時～2時30分
場所・逗子市民交流センター 2F5

碩心会皆伝会

日時・10月10日(日) 午前9時30分受付
場所・逗子さざなみホール

鎌倉吟舞連25周年大会

日時・10月17日(日) 午前9時30分開場
場所・鎌倉芸術館小ホール

昇伝(段位)認許

(平成22年7月1日付)

(皆伝 3名)

121 北原湖岳

123 菊地捷岳

222 野元正岳

(十段 8名)

76 西山蓉岳

79 田中景岳

86 葉山壽岳

88 高見陽岳

89 高見湘岳

91 久永広岳

92 時田千岳

94 市原儀岳

(総 伝)

7 小野岳祥

54 西川岳幸

57 西山岳隆

62 中山岳香

63 森 岳暎

碩心会吟道温習会

6月20日(日)、葉山町福祉文化会館に於て第30回碩心会吟道温習会が開催されました。

当日は梅雨も中休み、爽やかな天候に恵まれ、定刻9時40分、修礼より開始されました。

第二部のテーマ吟では和歌・俳句を詠ずと題し、和歌23題、俳句4題が詠せられ、日本語の持つ豊かな語彙や表現力が生かされた日本伝統の文化に触れることができました。

第五部の許証授与式では、会長から許証が各々に授与され、会場から大きな祝福の拍手が起りました。

午後の部は連吟コンクールより始まり、15組が日頃錬磨した成果を発表しました。

招待吟詠では、翔風吟道会、神奈川誠吟会、

神奈川青嵐会各会長がご挨拶と共に一吟を詠じて下さいました。

最後に連吟コンクールの結果が発表され、

優勝平松 村上・押山・森様 2位滝の坂

行谷・鮎澤・野口様 3位相洋 有馬・根岸

・西岡様 4位滝の坂 植草・今井・沼田様

5位渚 原田・菊地・今原様 5位滝の坂

鮎沢・種田・野口様(判定基準の処置に問題

があり、常任理事会で協議の結果2チームが

5位入賞となりました。)が受賞されました。

閉会式の後、恒例となった懇親会が行われ

親睦を深めることができました。 人見

第19回神奈川岳風連合会

青少年吟道大会開催

晴天に恵まれた去る6月13日(日)、表記大会が横浜市鶴見公会堂で行われました。

修礼の後、開会のことばでは可愛らしい子供達8名が「おじいちゃん！おばあちゃん！応援をよろしく願います。」その挨拶に場内は一瞬にして和やかになり、幼・小学生(低学年)の部より始まりました。

碩心会からは、去年小学生の部で優勝した松浦みづきさん(小6)、及び広瀬直樹君

(中二) 広瀬優作君(中三)の3名が出吟し素晴らしい吟声を聞かせてくれました。

伊藤

青少年大会に参加して

唐木山支部 広瀬 優作

いつも碩心会の大会では自分より年上の方々の中で吟じていましたが、今大会では小・中・高校生の自分と同年代の人が中心となって吟じたため、とても新鮮な気持ちで楽しめました。それと今大会で初めて大会役員として働かせていただきました。

吟じている人のように華々しい仕事ではないけれど、裏で頑張っている人がいるからこそ素晴らしい大会になるのだと思います。



昼休み二人の指導者でもある祖父の広瀬岳唐さんと笑顔の広瀬優作君(左)、直樹君(右)

自分は幼稚園時代から、祖父に詩吟の教えを受けて来ましたが、今年は中学三年となり何かと忙しい時期となったので、どこまで吟の活動が出来るか不安もあるが、とにかく努力をして行きたいと思っている。

普及部活動に思う

副会長・普及部長 上村 岳章

新たに星野岳輝さんを副部長に迎え、市川岳穂さん、原田義岳さんと共に活動を開始いたしました。

詩吟体験教室（レッツ詩吟）は比較的新しい会員が新しい方々を誘い易いのではの発想で行っております。今、日本詩吟学院全体でも減少傾向に歯止めが掛からない状態の中で現状維持を何とか保てるのは、皆様の努力の結果だと思っております。会員の皆様の一層の努力と協力をお願い致します。

お知らせ

碩心会のホームページで過去発行された「碩心」を読むことができます。

閲覧は on key となっています。

「機関誌」ボタンをクリックし、ユーザー名に siginsuki パスワードに seki2010 と入れて下さい。パスワードに記憶する、にチェックマークを入れて下さい。

◎柳原伶山さんに広報部副部長として引き続きホームページを担当して頂く事になりました。 広報部 伊藤

碩心四〇〇号の発刊に思う

相洋支部 臼井 岳照

昨年11月「碩心会皆伝会」が葉山町福祉文化会館で行われました。その時、同じテールの方から「もう何年やっておられますか」と聞かれました。

私が小林紫舟先生について詩舞を始めたのが30代後半、その後三井雲岳先生と紫舟先生の勧めがあつて詩吟を始めましたので、大体40年になりますと申しました。

その頃の碩心誌は、三井先生の手によるガリ版刷りで懐かしく思い出されます。

碩心四〇〇号

澗朗支部 石月 岳翹

長い道のりを経て皆様のお力を結集して四〇〇号と云う大台に乗れました事は、歴代の広報部の方々の御努力の賜と存じます。

「碩心」の中に多くの記事を掲載して頂き毎号楽しみにしております。

私も何時の間にか年を重ねました。入会したのは昭和52年頃のように思います。幸にして声を出す事が好きでしたのでスムーズに溶け込めました。三井雲岳先生は温厚な御立派な方で色々と気配りを頂き教室も20数名いて

この間、家庭の事情で昼の「逗子B」から夜の「沼間」に移籍したり、家族の病気のために5年位の休みがありました。先輩の皆様の御力に頼りながら今日まで何とか歩いてこられたのだとしみじみ思います。

私の半生を支え励ましてくれた誌吟、生きる力を与えてくれた事に改めて気付きました。時には手を引かれ助けられて今日まで来られた事に感謝の思いで一杯です。

詩吟の美しさと楽しさ、又厳しさと心を引き立てる力強さこの心を今後とも伝えて行きたいと思えます。年を忘れて皆様と御一緒できる幸せが長く続きますよう祈るこの頃です。

懐かしく思います。ただ一生懸命無中だったことを覚えております。幾度か東京の大会にも参り、色々の想いが走ります。

人と人との交わりも難しく、これ等を胸におさめて日々送りました。

「世の中は、術なきものと今ぞ知る
背けば辛し、背かねば愛しと」

世の中は思うように行かぬものと思えます。ただ正しく歩むことを念じております。私も再度、吟のお仲間入りをさせて頂き御熱心な村田先生と共に、暖かな吟友に支えて頂きながら吟のお教えを深めさせて頂いております。今は有難く皆様に感謝の気持で一杯です。

詩吟との出会い

新しい一歩を踏み出して

真名瀬支部 森 永 節 子

昨年10月、頌心会真名瀬支部に入会させていただきました。

今まで詩吟とは全く無縁の私が入会させていただいたのは、鈴木岳賢先生との出会いに始まり、熱心にお誘いをいただいたこと、又お話をしていく内に、先生の吟道に対する真摯な姿勢に心が動かされたことが大きいと思います。入会して早半年を迎えようとしている今、一向に上達しない私を、先生を始め、支部の皆様が温かく励ましてくださり、萎んでいる私の心に水を注いでくれているようで、感謝の気持ちでいっぱいです。先生の「焦らないでいいのですよ。前向きに取り組む姿勢が大切です。私も、今まで勉強が足りない」と反省すること頻りですから、常に精進することを心掛けていきたいと思います」との励ましをいただく頑張り、楽しもうという気持ちになつてきます。

吟道の何たるかは、歩み始めたばかりの私には、まだまだ遠くに輝く山です。その山の麓を一步踏み出したこの機会と出会いを大切に、吟道の心に触れることで、新たな自分の発見をして行きたいと思っております。

詩吟と詩舞と私と

真澄支部 星 野 岳 輝

初めて詩吟を村田先生にお教え頂いたのは40代初め、その当時は若手と称されて根岸岳幸先生始め諸先生に目をかけて頂きました。懐かしい先生方のお顔が次々と浮かびます。

まもなく村田先生率いる10人の合吟コンクールのメンバーに加えて頂き、九段会館に於ける全国大会で第3位入賞という栄えある経験をさせて頂きました。感激の想い出です。

その時の気迫あふれる村田先生の吟題を今でも思い出します。

主人が急死したのは50代半ば、云い表わす事の出来ない寂しさと焦躁感の中、詩舞の道に入りました。当時はお元気だった綾部秋香先生に、現在は高橋之香先生に御指導頂いて居ります。

詩吟と詩舞は今の私にとって楽しい生き甲斐です。自分の大好きな漢詩を吟ずる時、作者の於かれた境遇と風景が自然に胸に浮かびます。又素晴らしい伴吟のもとに詩舞を舞う時、充実感と精神の昂揚を感じます。

健康の許す限り詩吟と詩舞の二つの道に、楽しく精進する所存です。

会員のうごき

*入会

- 245 泉谷 鐵雄 (眞風)
茅ヶ崎市浜竹3-1-18
☎0467-82-7327 紹介者 高見湘岳
- 246 五十嵐 純子 (眞風)
茅ヶ崎市小和田2-13-27
☎0467-52-2301 紹介者 高見湘岳
- 247 松井 夏子 (眞澄)
逗子市久木8-1-13
☎046-873-4385
- 248 吉田 信次 (眞風)
茅ヶ崎市小和田2-13-27
☎0467-51-4023 紹介者 高見湘岳

*退会

- 45 荒木岳佳 (あずま) 56 小池和岳 (瀨朗)
- 65 服部翠岳 (眞澄) 147 後藤伸山 (瀨朗)

*所属支部変更

- 63 森 岳暎 晴誉 → 瀨朗
- 79 田中景岳 晴誉 → 瀨朗
- 99 金子憲岳 晴誉 → 瀨朗

編集後記

機関紙「頌心」400号へ皆様から沢山の投稿を頂き有難うございました。400号の投稿は終了致しました。

次号より紙面の関係で一時中断していましたが「雅号の由来」「詩吟について思うこと」を再募集することになりました。新入会された方々も投稿をお待ちしております。

広報部

22年7月1日現在	会員数
葉山地区	124名
逗子・大船地区	95名
合計	219名